



検査のとびら



作成 2023年12月 検査

発行 つくしが丘病院検査室・医療安全管理室

痛風の検査

痛風とは？

痛風とは、血液中の尿酸の濃度が上がり、尿酸の結晶が関節内に析出して**関節炎を起こした状態**をいい、激痛を伴います。尿酸結晶は関節以外に皮下、腎臓にも析出します。腎臓の場合、尿路結石や腎不全の原因にもなります。また、白血病、骨髄腫などの血液の病気(尿酸過剰産生)や薬(尿酸の排泄低下)によっても血中の尿酸が上がって痛風を起こすことがあります。圧倒的に男性に多い病気です。(男性98.5%、女性1.5%：1992東京女子医大調査)

痛風になるとどんな症状が現れるの？

●急性関節炎(右写真)

- 足の関節が多い。
- 腫れ・発赤を生じ、強い痛みが生じる。
- 10日前後で軽快する。

●皮下の痛風結節

- 尿酸結晶が皮下に析出したもので、耳たぶ、手指などの皮下が多いです。
- 痛みはない。

●尿路結石、腎障害

肥満、高血圧、脂質異常症(高脂血症など)、虚血性心疾患を伴うことが多いですよ。



高尿酸血症とは

高尿酸血症は、尿酸の過剰産生により血中の尿酸値が増加する「過剰型」、尿酸の尿への排泄が低下することで尿酸値が増加する「排泄低下型」および両者を備えた「混合型」に大別されます。

痛風が疑われた時に行われる検査

血液検査

- 血中尿酸値
- 腎機能、肝機能検査、糖尿病、高脂血症等の検査(合併しやすい病気の有無の検索)

尿の検査

- 蛋白尿や血尿の有無など定性検査
- 顕微鏡で尿に尿酸結晶がないか、腎の障害を示唆する成分がないか尿沈渣を調べます



関節液の検査

- 関節液に尿酸結晶がないか顕微鏡で確認する

画像検査

- 超音波検査等を用いて腎臓、尿管に尿路結石が無いかを調べます

Point!

成人では男女問わず血清尿酸値 **7.0 mg/dL** 超えたら**高尿酸血症**。
2mg/dL以下は低尿酸血症。(日本痛風・核酸代謝学会)
尿酸基準値：男性3.6~7.0、女性2.7~7.0mg/dL

痛風はなぜ男性に多いのか？

もともと男性の尿酸値が女性より高いのが原因です。女性ホルモンには腎臓での尿酸排泄を促す働きがあるため、女性の尿酸値は低いのですが、女性ホルモンの働きが弱くなると上昇する傾向にはあります。

高尿酸血症の治療と予防

高尿酸血症の治療・予防の基本は、肝臓での尿酸産生量と腎臓からの尿酸排泄量をほどよく保つこと。尿酸産生量をほどよくするには、食事の中のプリン体(肉に多く含まれる)を過剰に摂らないことです。

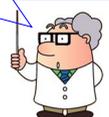
Point

尿酸の排泄量をほどよくする3つの重要ポイント

- 1 肥満と運動不足を解消して1日1リットルの分泌を促す。
- 2 尿をアルカリ化する食品、野菜、いも類、海藻類、牛乳などを摂取し、肝臓での尿酸結晶の析出を防止する。
- 3 十分な水分を摂取して尿へ尿酸の排泄を促進する。

高尿酸血症は、高血圧、糖尿病、高脂血症、動脈硬化症を高率に合併し、これらにより腎臓内の細動脈硬化や糸球体の障害を引き起こし腎機能障害になると考えられています。すなわち、高尿酸血症も含めた生活習慣病全体が総合して腎機能障害を引き起こすので、痛風の予防だけでなく生活習慣病全体の予防が大事です。

薬、食事療法、運動療法を組み合わせると治療や予防が行われます



問合せ先：検査室 佐藤まで